

# 風 か ほ る

## 「見える学力と見えない学力」と「非認知能力」

校長 出居正之

「見える学力 見えない学力」は、今から40年以上も前、1981年に小学校の教師であった岸本裕史さんの著書の題名です。小学校などで実践される「100マス計算」を考案したのもこの方です。私自身も、授業や補習などでこの本に書かれている漢字や計算などを生徒にやらせていました。

1981年と言えば、受験競争の激化、落ちこぼれ、校内暴力などが学校現場で問題になっていたころです。どうしたら「落ちこぼれ」と称された子どもたちをなくせるかという視点から、「見える学力」（偏差値やテストの点数など測定できるもの）の前には「見えない学力」があり、言語環境、読書、遊び、基本的な生活習慣など、学校、家庭それぞれで育てる必要があることが説かれていました。

社会情勢や子どもを取り巻く環境は大きく変わっていますが、基本的な考え方は古びていません。

ここ数年、「非認知能力」という言葉を耳にすることが多くなりました。所沢市でも、子供たちの「学力」の向上を考えるうえで、「非認知能力」に注目しています。岡山大学の中山芳一教授によれば、「非認知能力」とは、「認知能力」（狭義の学力など客観的な点数にして評価できる力）に対して、「客観的な点数にして評価できない力」としています。具体的には、「認知能力」が、読み・書き・計算などの見える（狭義の）学力、IQ（知能指数）などテストで客観的な点数（数値）にできるのに対して、「非認知能力」は、客観的な数値では測定できない能力の総称で、向上心や共感性、忍耐力などが含まれます。

この非認知能力という言葉聞いたときに、初めに紹介した「見える学力見えない学力」を思い出しました。もちろん背景にあるものは違います。1980年代当時は、いわゆる「落ちこぼれ」と言われる子どもを出さないために「見えない学力」にも焦点をあて子どもに学力をつけることを考えました。

現在、非認知能力が注目される背景は1980年代当時とは大きく違います。AI（人工知能）の急速な進歩により、人間社会も大きく変わっていくことも想定されています。認知能力にあたる部分はAIが人間よりもはるか速く多くの量を正確に行います。では、人間の役割、人間だからこそ求められる（人間が得意な）能力とは何かと考えたときに、それが「非認知能力」とされる力なのではないかという考えに基づくものです。

私たち教師は、以前から「勉強だけをやっていても勉強ができるようにはならないよ」といった言葉で、「見えない学力」を「見える学力」にできるよう経験則的に子供たちに働きかけてきました。現在、社会においてもAIと人間がどう付き合っていくのが課題になっていることは周知のとおりです。学校においても、「非認知能力」という「見えない力」にあらためて注目し、その育成について考えているところです。

## 新入生体験入学

2月22日（木）の午後、新入生の体験入学を実施しました。まず、体育館で、すべて生徒の運営による学校生活のガイダンスを行いました。2年生の学年合唱の披露に続いて、生徒が作成した学校紹介パンフレットを配布し、学校生活、ルール、委員会活動や学校行事や部活動の紹介など、在校生へのアンケート結果など、新入生にわかりやすく説明をしました。その後、学級委員の案内で教室に移動し、クラスごとに、理科、英語、社会、数学、国語の体験授業に参加しました。



## 子どもたちの安全な生活のために

### ○見守り活動ありがとうございます

2月27日（火）からの登下校の見守り活動に参加いただいている保護者の皆様、お忙しい中、お時間をつくっていただき有難うございます。

### ○第2回安全安心な学校と地域づくり推進支部会議

2月2日（金）、吾妻まちづくりセンターにて、第2回の会議を開催しました。町内会をはじめ、地域の関係団体が、団体ごとに登下校の見守りをはじめ、子どもたちの健全育成のための活動についての紹介、報告がありました。日ごろよりありがとうございます。なお、本会議は、市の本部会議が本年度末をもって廃止になることから、支部会議としての開催は今回が最後となります。来年度は、「吾妻子ども会議」として、引き続き、吾妻地区で子供たちを育てていく体制となります。「地域の子どもを地域の大人全体で育てる」ことにご協力をお願いします。

## ジェットヒーターの寄付をありがとうございました。

大型の暖房機（ジェットヒーター）が2台故障し修理ができなことがわかりました。PTAと愛校会に相談したところ、1台ずつ寄贈いただけることになりました。冬期の体育館での学校行事の実施にあたってたいへん助かっています。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



## 南陵中生の活躍(敬称略)

### 「家庭の日」推進事業 作文コンクール 青少年～明日へのメッセージ

特選	(2年)	(1年)	計2名
金賞	(3年)	(1年)	計2名
銀賞		(1年)	計3名
佳作	(2年)		
	(1年)		計8名